

和合恒男 わがくにぬき 農民運動家、歌人。明治二十四年五月十日長野縣東筑
摩郡本郷村生れ、昭和十六年五月十六日没（一九〇一—四一）。號（大真童）、
耕雲。東京帝國大學文學部印度哲學科卒。教職を経て、昭和二年瑞穂
精舎を開設、六年日本農民協會を結成した他、日本村治派同盟、自治
農民協議會（加はり）、雜誌『百姓』を發刊。また良寛、平賀元義の私
淑（し）く短歌を能くした。和合恒男遺稿刊行會編『和合恒男遺稿選書』
（一）『耕雲歌集』昭和四十五年十一月一日、二『耕雲紀行』四十六年
六月十日、4『耕雲隨想』四十八年十月一日静岡・あふろ社（か）のり。
著書『和合文叢』（鈔譯）代田文誌編、昭和十一年十一月二日長野・瑞穂精
舎）、『國風雜誌』（昭和十五年十一月二十一日春陽堂書店）『瑞穂叢
書』等。